



令和4年度 保護者・生徒・地域の皆さんへ

長野高等学校 学校長だより

(「学校長だより」はホームページにも掲載しています。)

令和4年
No 7

7月13日(水)

多くのOB・OGから応援を頂いています(弓道男女団体・個人インターハイ出場)

弓道班の活躍に対して、弓道班OB・OGから喜びの声と生徒さんへの寄付の申し出を頂きました。その中のお一人のお手紙には「皆様のご活躍に感動させて頂きました。私たちの世代は県大会の結果で、憧れの明治神宮弓道場には行けませんでした。静まりかえった弓道場に並んだチームメイトとの心の繋がりを感じながら自分の矢が的に吸い込まれていった光景はいつまでも忘れず残っています。大学でも弓道は続けましたが、あのような感覚を味わったのは高校時代のあの瞬間だけでした。一生の宝物です。」とありました。そのご厚志を原良通同窓会常務理事より弓道班の生徒さんへ手渡してもらいました。(写真)



また、校長(高31回)の同級の弓道班仲間でも盛り上がり、「感動です。この学年は男女10人の人数で、女子が複数で入班し、女子団体戦に一人足りない4名で弓道班史上初めて出場することができた学年です。でも細々と大会に出場していたことを思えば、県大会で優勝する強豪になったなんて、本当に感慨無量です。ささやかな応援の気持ちを届けたいと思います。」ということで、当時の仲間10名全員の連名で代表3名が来校してご厚志を預かりました。皆さんの活躍が、かつて長野高校の弓道場で過ごした先輩達の心に感動をもたらしてくれています。

異常な暑さの中、1年生教室のエアコン室外機故障、急速、授業教室変更!

金鷲祭初日の6月24日(金)は最高気温が35℃を超える大変な暑さでしたが、その暑さが続いていた6月29日(水)の2時間目、「1年生の教室のエアコンが効かない!」という連絡がありました。エアコンが効かない教室はどこ? 原因は? 教室変更のための空き教室



は?等、2時間目の途中から事務室と教務室は一時てんでこ舞いでした。これだけの暑さの中、エアコンの効かない教室での授業は考えられないので、1年生の皆さんには授業教室を変更してもらいました。また、急いで業者に来てもらい、その原因を探ってもらったところ、室外機の基盤が故障していることがわかりました。とりあえず、「会議室等の室外機」の基盤を「1年生の教室等の室外機」に付け替えることで翌日から1年生の教室のエアコンが通常通り作動して事なきを得ました。また、基盤に使用されている半導体の入荷が心配でしたが、新しい基盤に数日で交換でき、会議室等の室外機も使用でき、ホッとしました。



(左) 1年教室用室外機
(右) 会議室等室外機
(左上) 故障した基盤

本校は、校舎建設時(平成6年)から設置のエアコン(視聴覚教室等)、創立100周年事業で設置したエアコン(3年教室)、令和元年の県教委事業と創立120周年事業で設置したエアコンがあり、ほぼすべての教室・特別教室・研究室にエアコンがある、という長野県立高校では特別に恵まれた環境にあります。それもアンダーラインをした**本校の卒業生(同窓会)・PTAの皆さんの善意によって環境整備が実現**していることを覚えておいてください。感謝! (でも故障は困りますね。)

今年も暑いですが、「温暖化」の状況は気象庁のデータからも確認できます。

以下のグラフは、過去の気象庁のデータから校長（宮本）が作成したものです。

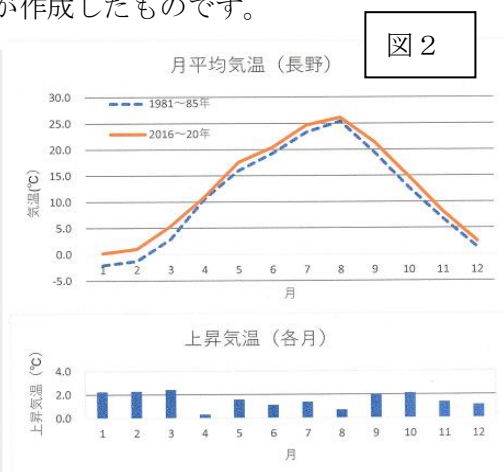
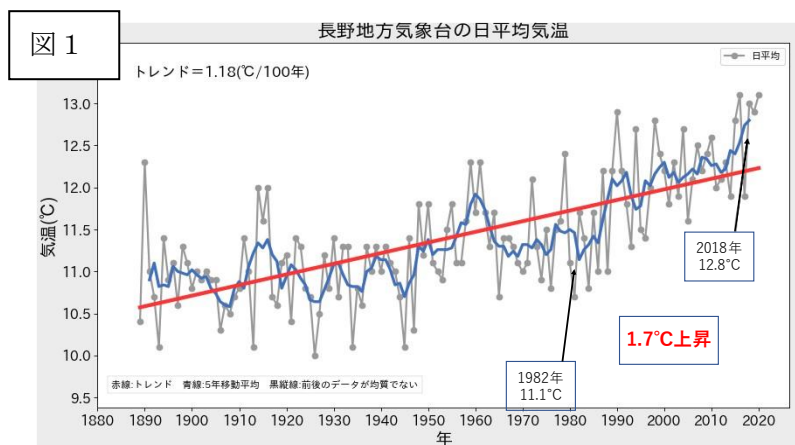


図1は「信州気候変動適応センター」がHP上で気候変動の実態についてのグラフ作成ができるように公開しているものを使って、長野の気象庁観測データから作成したものです。長野では100年当たり1.18°Cの気温の上昇がみられる他、「5年移動平均」（当該年の前後2年の合計5年間の平均値を年毎に計算して得られた値）のグラフ（青い折れ線）の1982年の気温は11.1°C、これに対して2018年には12.8°Cとなっており、**変化は36年で1.7°C上昇**しています。図2は長野において、近年の40年間のうち、最初の5年間で最後の5年間の月平均気温を比べたものです。9・10月と1・2・3月の気温上昇が著しく、**秋が短く夏が長くなる傾向と冬が温暖**になっていることがわかります。

以上は長野県高等学校地理教育研究会の第53号『会誌地理』（2021）へ「長野県の気候変動の状況～気温上昇について～」との題で校長（宮本）が寄稿した論考と昨年「防災教育ビデオ」で紹介した内容の一部です。データ上からも、ここ40年の気温上昇の様子を見て取ることができます。

先生方も研修です。心肺蘇生とAEDの学習と実践訓練。

定期考査2日目の7月6日（水）午後、日本赤十字社から講師の方に来ていただき、視聴覚室で先生方が「心肺蘇生とAED」の講習を受けました。3時間にわたり、レクチャーや実技指導を受け、救急救命の技量を高めました。今年は、コロナ対応のため2回に分けて研修会を実施しました。以下に心肺蘇生とAED使用の概要を示します。

傷病者の発見→自身の安全確保→傷病者の状況確認→反応の確認→協力者を求める（119番通報とAEDの依頼）→呼吸の確認→直ちに胸骨圧迫30回（強く5cm、早く100回/分、絶え間なく）→人工呼吸2回（できなければ胸骨圧迫優先）→AED装着→心電図解析→電気ショック→胸骨圧迫を再開→救急隊来るまでずっと継続…… →救急隊が来たら引き継ぐ

ちなみに本校のAEDは「生徒昇降口の事務室側」と「音楽室の入り口東側」と「浅川グランド」にありますので、生徒の皆さんも承知しておいてください。



研修の様子



生徒昇降口の事務室側



音楽室の入り口東側